

出 会 い の 森

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

何ができるのか 自分とつなげて考える

校長 廣瀬 尚美

11月15日・16日に、6年生が修学旅行で広島県を訪れました。一日目は宮島です。世界遺産の厳島神社から班活動スタートし、水族館や表参道商店街をまわりました。渡す人を思い浮かべながらいろいろなおみやげものを手にしている姿が印象的でした。国の重要文化財である大鳥居は圧倒的な存在感で、干潮にあたる15時頃に大鳥居を真下から見上げた子どもたちはスケールの大きさにとても感動した様子でした。



厳島神社の大鳥居

二日目は平和学習です。「原爆の子の像」の前でセレモニーを行い、広島平和記念資料館を見学し、ガイドさんとともに平和記念公園をめぐりました。事前学習で本やインターネットや映像を使って、さまざまなことを学んではいましたが、やはり実際に目で見て、歩いて感じるインパクトはとても大きかったようです。資料館は土曜日だったこともあり、見学者のほとんどが一般の方でした。その誰もが真剣にきくように展示物と向き合っておられました。中には外国人の方もおられ、アナウンスガイドを利用しながら熱心に見学されていました。そんな雰囲気の中、子どもたちは、メモをとりながらしっかりと見学できました。



セレモニー

平和記念公園の原爆供養塔には、身元がわからない約7万人の人々のお骨と、名前だけがわかっている800人余りの方々のお骨が納めてあります。広島市はこの800人余りの方々の名前はポスターにして公表し、遺族を探しています。このポスターをきっかけに広島を旅した綾さんの話は、5年生の国語「たずねびと」で学習しています。広島を訪れた綾さんが感じた『わたしたちがわすれないでいたらー』という思いが身近に感じられたと思います。

修学旅行を終えて子どもたちはまとめの学習として新聞づくりに取り組んでいます。新聞の内容の一部を紹介します。

- ・ぼくは資料館に行って本当にこんなことが起きたことが信じられませんでした。特に印象に残っているのは溶けた三輪車です。金属でできた三輪車が溶けるというのは、すごい熱さだと思いました。
- ・私は、「幸せでいることや平和なことはあたり前じゃない」ことがとてもわかりました。戦争を体験した人はとてもつらかったんだろうなと思ったので、私は「一秒一秒を大切に、今をせいっぱい生きる」ということをがんばりたいです。
- ・ぼくは、平和公園に行って原爆の被害などを知れて良かった。もうこのようなことは二度とおこしてはダメだと深く思った。
- ・実際に原爆の悲惨さを写真や映像、遺品などを見て、とても悲しくしんどかったです。ですが、もう二度とこのようなことが起こらないように知っておかないといけないと思いました。

子どもたちは、平和のために自分たちにできることがあることを、広島へ修学旅行に行ったからこそ、感じ取るとともに、深く考えることができたと思います。実際に、目で見て、話を聞いて、肌で感じることの大切さを今回の修学旅行で実感しました。平和については、私たちは学び続ける必要があります。広島を訪れて感じた思いや芽生えた願いを子どもたちには持ち続けてほしいし、周囲の大切な人たちに伝えてほしいです。



4年生環境学習～ヨシ苗移植～

4年生はヨシ帯再生プロジェクトに参加し、実際に野洲川河口で、自分たちで育てたヨシ苗の移植を行いました。環境センター見学、ヨシ苗育成、やまのこ学習など、1学期から様々な環境学習を重ねてきた集大成の活動となりました。当日は、国土交通省や守山市環境政策、淡海環境保全財団の方にサポートしていただきました。5年生の米作りやフローティングスクール、6年生のカヤック体験、赤野井湾調査につながる、充実した活動ができました。体験を通して再度、水環境保全の大切さを感じる機会となりました。



✧愛校活動～玉津小学校をさらにきれいに～✧

12月1日の環境美化の日（基準日）に合わせて、玉津小学校では11月28日（木）の掃除時間に愛校活動を行いました。強い北風が吹く中でしたが、子どもたちはグラウンドや周辺の除草作業とごみ拾いを行いました。普段の掃除もきちんと取り組める玉津っ子ですが、この日は学校をさらにきれいにしようと、強風に負けず最後までがんばりました。最後には、どのクラスもごみ袋にたくさんの雑草が集まりました。自分たちの手で学校をきれいに、気持ちよくしようとする姿勢が、学校や地域への愛着としてしっかりと根付いていることを感じる瞬間でした。上学年の姿を見て下学年が真似ることで、しっかりと伝統が受け継がれています。



校内人権週間（12月2日～）

玉津小学校では、今日からの1週間を「校内人権週間」と位置づけ、人権に関わる様々な取組を計画しています。「人権」とは、一口に言えば「みんなが幸せに生きる権利」と、子どもたちにはよく話します。今朝は、学校長が校内人権の日の放送を担当し、自分と同じように人を尊重することの大切さについて子どもたちに語りかけました。期間中、各学級では思いやりの心や相手の立場になって考えることの大切さについて改めて見つめなおしたり、市のふれあい守山展に応募する作品作りを通して、自らの人権に関する思いを表現したりしていきます。ご家庭でも、この機会に「人権」についてお子さんと語り合ってみてはいかがでしょうか。

～お知らせ～

12月16日（月）から12月20日（金）に個別懇談を行い、「子どもの姿」をお渡しして、子どもたちの学習や活動の様子等をお伝えいたします。なお、2学期の所見については、懇談の際に直接伝えさせていただくことから、記入していないことをご理解ください。

* 学校教育診断アンケートへのご協力ありがとうございます。グーグルフォームによる回答をお願いします。詳細は11月29日（金）配布しましたおたよりまたはネコルメールをご覧ください。お手数おかけしますがよろしくお願いいたします。

* 学校での様々な学習活動等の様子は、玉津小学校ホームページ（下記URL）でもご覧いただけます。<<https://city-moriyama.ed.jp/tamatsu/>>